

難治性疾患克服研究の対象となっている123疾患について

主任研究者； 中村 耕三

疾患名； 黄色靭帯骨化症

1. 初代研究班発足から現在までの間の研究成果について(特定疾患の研究班が独自に解明・開発し、本研究事業として公表したもの。なお、原則他の研究事業等に依存していないもの。)

(1) 原因究明について(画期的又は著しく成果のあったもの)

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

(2) 発生機序の解明について(画期的又は著しく成果のあったもの)

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

(3) 治療法(予防法を含む)の開発について

ア 発症を予防し、効果があったもの

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

イ 完治に至らしめることはできないが、進行を阻止し、効果があったもの

不可・手術による骨化の切除。

ウ その他根本治療の開発についてもの

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

2. 「1」以外で、国内、国外を問わず、研究成果の現在の主な状況について

(1) 原因究明について(画期的又は著しく成果のあったもの)

なし

(2) 発生機序の解明について(画期的又は著しく成果のあったもの)

なし

(3) 治療法(予防法を含む)の開発について

ア 発症を予防し、効果があったもの

なし

イ 完治に至らしめることはできないが、進行を阻止し、効果があったもの

なし

ウ その他根本治療の開発についてもの

なし

3.現時点において、次の事項について残された主要な課題及び今後の研究スケジュールについて

(1)原因の解明について

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

(2) 発生機序の解明について

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

(3) 治療法(予防法を含む)の開発

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている

4. 重症化防止対策について

大多数の患者に対して外来通院によって症状のコントロールが可能な治療法(重症化防止のための治療法)の確立

不可・類縁疾患である後縦靭帯骨化症をターゲットに行われている